

令和2年3月1日

各 位

鹿島神宮 宮司 鹿島則良

政府発表「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」による

祭頭祭に関わる諸行事の変更・延期の件

急啓 平素より鹿島神宮の事につき種々ご高配賜りますこと御礼申し上げます。

先般の政府による「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を受け、当神宮で予定しておりました祭頭祭に関わる一連の諸行事を当神宮・祭頭囃保存会・当番字溝口郷の三者で協議の上、以下の通り変更・延期することとなりました。

なお今後の詳細につきましては社会状況の経過観察や関係団体との協議により慎重に判断を下し、当神宮のウェブサイトでの掲載をもって告知することとなります。

何卒趣旨をお汲み取り頂き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【当初の予定】

- ①祭頭祭 3月9日 午前10時
- ②祭頭囃 3月14日 正午
- ③春季祭 3月14日 午後6時

【変更後】

- ①祭頭祭および明年奉仕字卜定神事 3月9日 午前10時
※ただし一部の鹿島神宮関係者および溝口郷役員のみの参列。一般参列なし。
- ②祭頭囃 延期 (期日未定)
- ③春季祭 延期 ((②祭頭囃の奉納終了後に実施。))

■お問い合わせ 鹿島神宮 広報課

電話 0299-82-1209 FAX 0299-82-1625 Email info@kashimajingu.jp

鹿島神宮公式 Web <http://kashimajingu.jp/>

鹿島宮司コメント

令和2年3月1日、新型コロナウイルス感染症に際し当神宮よりプレスリリースを發した通り、祭頭祭および春季祭に変更を加え、祭の花形である祭頭囃の奉納の延期を決定致しました。

平年の祭頭祭には300名を超える氏子崇敬者が参列し、引き続き行われる当番字(地区)の祭頭囃の披露には表参道や境内に数千名の拝観者が集っている現状がございます。

またとくに本年は、将来を担う子供たちの参加を期するため、各方面との調整に奔走し土曜日に祭頭囃を行うべく日程の変更を講じ、新たな祭頭祭のあり方にのぞむ年でもございました。

元来、鹿島神宮にとって祭頭祭は我が国に春を告げる重要な祭儀であり、多くの衆目の集まるご祭神のご神威の発揚の機会でもございます。また当番となった字は一年がかりで準備を進め、集落の結束の成果の發揮する機会でもありました。

これを縮小・延期の措置をとることは、政府の基本方針に沿ったやむなき判断であります。これまでの関係機関のご尽力やご協力、当番字の団結思えば、まさに断腸の思いでございます。

この新型コロナウイルス感染症が国民全体の不断の努力で収束し、鹿島の大神様のご加護により皆様が平穩無事な生活が送れますよう切に願っております。また氏子崇敬者の皆様には政府や都道府県、あるいは医療機関等の發する情報をよく確認し、過剰に心配することなく防除対策に励行いただきますよう併せてお願い申し上げます。

令和2年3月1日

鹿島神宮 宮司 鹿島則良